

**製品名: RCN1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86347**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:2000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:45 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RCN1
別名	RCN; RCAL; PIG20; HEL-S-84
遺伝子ID	5954
SwissProt ID	Q15293
免疫原	ヒトRCN1の合成ペプチド

**背景**

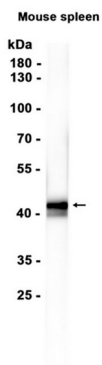
レチキュロカルビン1は、ER内腔に位置するカルシウム結合タンパク質です。このタンパク質は、高親和性Ca(+2)結合モチーフであ

る EF ハンドと相同性のある 6 つの保存領域を有しています。マウスのレチキュロカルピンと比較して、これらのモチーフ以外のアミノ酸残基の保存性が高いことは、カルシウム結合以外の生化学的機能の可能性と整合しています。ヒトの内皮細胞株および前立腺癌細胞株では、このタンパク質は細胞膜に局在します。[RefSeq 提供、2009 年 1 月]

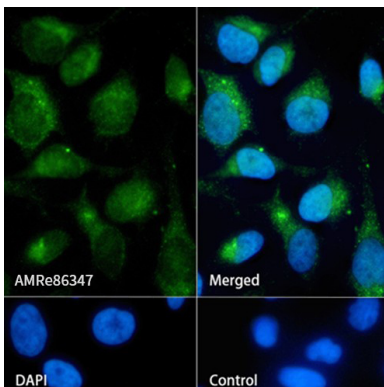
## 研究分野

-

## 画像データ



RCN1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウスの脾臓組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。



AMRe86347 で RCN1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。